

その 02

環境



(写真1右) 代表取締役社長 佐々木 英人さん 1

採るだけじゃない、"つなぐ"という選択

Q. 地域に根ざした企業として、これまで取り組んできた地域貢献活動にはどのようなものがありますか (村長)

A. 村で開催される各種行事の際の駐車場開放や消防団活動における土のう資材の提供、村民ゴルフ大会には秩父鉱業として1組参加するなど地域に根差した取組を行っています。

私たちの事業は、地域住民の皆さんのご理解とご協力があってこそ成り立っています。

そのため、日頃の感謝の気持ちを大切にし、地域とのつながりを深めながら、今後も地域社会に貢献できるよう努めてまいります。

(井上さん)

Q. 持続可能な資源活用や環境配慮の観点から、今後強化していきたい取組はありますか (村長)

A. 御堂鉱業所は、秩父高原牧場から望める位置に立地していることから、景観への配慮として採掘面の角度に工夫を施しています。

環境負荷の低減については、鉱業所等で使用した水を循環処理することで再利用を図り、また、CO²の排出削減を考慮した車両・重機の採用に努めています。(佐々木社長)

秩父鉱業株式会社
御堂鉱業所採掘現場



(写真2右) 取締役営業部長 御堂鉱業所長 松岡 直昭さん 2



(写真3左) 生産課長 井上 聡さん 3



(写真4左) 業務課長 初雁 玲子さん 4

▶ 今回の聞き取りを通じて、秩父鉱業株式会社御堂鉱業所が地域とのつながりを大切にしながら事業に取り組んでいる様子が伺えました。資源の採掘という営みの中で、周囲の自然や環境との調和を意識し、景観や環境への配慮に努めるなど、日々の工夫が積み重ねられています。

こうした取組が今後も継続されることで、地域とともに歩む事業として、より一層親しまれていくことが期待されます。